

1 新産業創出による経済の再興

- ◆人工知能やドローン、ロボットなどの新技術、再生医療技術などの先端医療技術や革新的エネルギーの研究・開発の促進により、新産業と雇用を創出します。
- ◆大学等の研究機関の研究成果と地域産業のものづくり技術を結び付けた新事業開発や、地域特産品の海外販路の開拓などにより、地域産業を振興します。
- ◆日本近海の海洋資源開発・実用化を推進し、資源大国への転換を図ります。

2 健康で豊かな生活の実現

- ◆安定的な社会保障の財源を確保し、国民皆保険制度を堅持するとともに、持続可能な医療・介護・年金制度への改革を進めます。
- ◆高齢化社会に向けて必要なマンパワーと施設・設備を確保し、人工知能や情報技術を利活用することにより、地域医療・介護の充実を図ります。
- ◆ワクチン開発や検診システムの充実など、予防医療を強化し、高齢者雇用を推進することにより、いつまでも元気で活躍できる社会を実現します。
- ◆保育所機能の充実、働く女性への子育て支援など生活者の視点に立った少子化対策を充実します。
- ◆人間の尊厳を保った看取り医療の法制化を進めます。

3 財政再建

- ◆徹底した無駄の排除と行政改革、経済成長を図ることにより、国民負担を最小限に抑えた無理のない財政再建を実現します。
- ◆高齢者数が最大となると予測される2040年までの長期的視点に立ち、客観的・科学的根拠に基づいた財政計画を策定します。

日本の明日を切り拓く



4 世界で活躍できる日本人の育成

- ◆すべての子供に基礎的学力を確実に身につけさせ、世界で活躍できる人材を育成するため、外国語や理数系科目の教育を強化するなど、教育の質と量を見直します。
- ◆日本の大学の研究・教育を世界トップレベルに引き上げるため、大学の国際化を推進します。

5 国益の保持と防災の強化

- ◆テロや北朝鮮の核開発など我が国や世界の平和と安全への脅威に対しては、国際社会とも強調しつつ断固たる対応を貫きます。
- ◆日米関係を基軸としつつ、アジア・オセアニア諸国との経済・防衛両面における連携を推進します。
- ◆豪雨災害や首都直下型地震等の大災害に備え、事前防災・減災対策を進めます。

6 農畜水産業の振興

- ◆地産地消と結びつけた食育の推進、我が国の安全で高品質な農産物等の海外販路の開拓などにより農畜水産業の振興を図ります。
- ◆食物や水産物の健康効果を活用した農商工連携による新しい産業を育成します。
- ◆農作物の栽培や家畜の飼育における人工知能の活用を推進し、品質の向上や作業の効率化に役立てます。

www.toshiharu-furukawa.jp



古川俊治
ふるかわとしはる
PROFILE

- ◆昭和38年1月14日　さいたま市岩槻区(旧岩槻市)生まれ。
- ◆開成中学・高校、慶應義塾大学医学部(昭和62年)・文学部(平成5年)・法学部(平成8年)卒業(病院勤務の傍ら、通信教育課程で社会学、法律学を学ぶ)、オックスフォード大学大学院修了(MBA)(平成17年)。
- ◆医師(昭和62年)、博士(医学)(平成6年)、弁護士(平成11年)。
慶應義塾大学法科大学院教授・医学部外科教授(兼任)(平成19年～現在)。

- ◆平成19年7月、埼玉県選挙区にて参議院議員初当選。平成25年7月、埼玉県選挙区にて2期目当選。
令和元年7月、埼玉県選挙区にて3期目当選。自由民主党参議院政策審議会会長(令和6年11月～)
参議院では財政金融委員会委員長、厚生労働委員会筆頭理事などを歴任、自由民主党においては厚生労働部会長、法務部会長、科学技術イノベーション戦略調査会事務局長、生殖補助医療に関するプロジェクトチーム座長、社会保障制度に関する特命委員会・医療に関するプロジェクトチーム事務局長などを歴任。医療、法律、経済・財政の専門家の見地から積極的な政策提言を行っている。

自民党
(医師・弁護士)
古川俊治
ふるかわとしはる